

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	毎年3月31日
中間配当を行う場合の基準日	毎年9月30日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行(株)
郵便物送付先 (お問い合わせ先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行(株) 証券代行部 TEL 0120-782-031 (フリーダイヤル) 取次事務は、三井住友信託銀行(株)の本店及び 全国各支店で行っております。
住所変更等の お申出先について	株主様の口座のある証券会社にお申出ください。 なお、証券会社等に口座がないため特別口座を開設 されました株主様は、特別口座の口座管理機関である 三井住友信託銀行(株)にお申出ください。
未払配当金の 支払について	株主名簿管理人である三井住友信託銀行(株)に お申出ください。
公告方法	電子公告により行います。ただし事故その他やむを得ない 事由によって電子公告による公告を行うことができない 場合は、日本経済新聞に掲載する方法により行います。
公告掲載 サイトアドレス	https://www.garage.co.jp/ja/ir/public-notice/
上場取引所	東京証券取引所 市場第一部
銘柄コード	4819

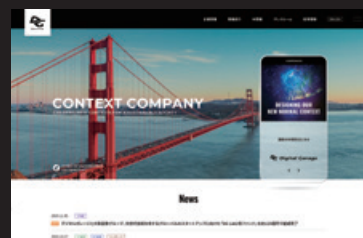
Digital Garage

株式会社デジタルガレージ

本社 〒150-0022 東京都渋谷区恵比寿南3-5-7 デジタルゲートビル
本社 〒150-0042 東京都渋谷区宇田川町15-1 渋谷パルコDGビル
【お問い合わせ先】 ☎03-6367-1111
【当社Webサイト】 <https://www.garage.co.jp/ja/>

Webサイトのご案内

当社WebサイトではIR情報のほか、デジタルガレージグループに
関する情報をリアルタイムで紹介しております。ぜひご覧ください。



当社Webサイト <https://www.garage.co.jp/ja/>



当社Webサイト IRページ <https://www.garage.co.jp/ja/ir/>

Webメディア「DG Lab Haus」

DG Labの注力分野において、世界中のオー
プンイノベーションの現場で生まれるニュースや
業界のリーダー達が語る未来を発信。



DG Lab Haus Webサイト <https://media.dglab.com/>

Business Report

第26期 2021年3月期 第2四半期

2020 Slogan

DYNAMIC RESILIENCE

第26期 2021年3月期 第2四半期



 Digital Garage Group

2021年3月期 第2四半期決算サマリー

2Q(7-9月)の税引前利益は前年同期比10%増の56億円、IFRS適用後、過去最高の税引前四半期利益を計上

Profit before tax in 2Q rose 10% YoY to 5.6 B JPY, a record high for quarterly profits before tax after application of IFRS

2021年3月期の第2四半期は、COVID-19の感染拡大による影響は残るものの、2020年3月期第4四半期をボトムに業績が大きく回復し、税引前四半期利益は過去最高を更新することができました。ITセグメントではDX関連企業を中心に保有株式の公正価値評価額が増加したほか、FTセグメントにおいては決済取扱高が引き続き好調に推移し、業績が堅調に推移しました。MTセグメントは減収減益となりましたが、中期的な成長を見据え不動産領域においてコストの適正化を実施したほか、戦略事業の先行投資により費用を計上したことが要因となります。

2016年に始動したDG Labは、第2ステージへと進化しています。ブロックチェーン領域では、グローバルでの暗号資産決済事業、金融業界向け暗号資産システムの構築を継続して進めています。また、バイオヘルス領域では、運転事業者向け脳MRI事業をベースに、脳のビッグデータとAI活用によるデータ連携事業の開発を推進しており、バイオヘルスカテゴリーの主力事業へと成長させてまいります。

In the six months ended September 30, 2021, although the impact of the COVID-19 remained, results recovered significantly after bottoming out in the 4Q of FY20.3, and quarterly profit before taxes reached a record high. In the IT segment, a significant increase in the fair value of shares held, mainly by DX-related companies, and to the continued strong performance of transaction volume in the FT segment. Sales and profits decreased in the MT segment, but this was due to cost optimization in the real estate area in anticipation of medium-term growth and the recording of expenses through upfront investment in strategic businesses.

DG Lab, started in 2016, is evolving into its second stage. In the blockchain area, we will continue to build a global crypto asset settlement business and crypto asset systems for the financial industry. In the BioHealth area, based on brain MRI business for drivers, we are developing a data linkage business using big data of brain and AI. From now on we will grow into a core business in the BioHealth category.



林 郁
Kaoru Hayashi

代表取締役 兼
社長執行役員グループCEO
Representative Director,
President Executive Officer
and Group CEO

【2021年3月期 第2四半期 決算ハイライト】 [FY21.3 Second Quarter Financial Highlights]

収益は前年同期比2%減の193億円、税引前利益は同18%減の60億円
～COVID-19による影響は底を打ち、業績は回復傾向～

Revenue decreased by 2% YoY to 19.3 B JPY, profit before tax decreased by 18% YoY to 6.0 B JPY

The impact of the COVID-19 bottomed out, and performance are recovering

2021年3月期第2四半期累計期間は、収益19,264百万円(前年同期比1.7%減)、税引前利益6,037百万円(前年同期比17.6%減)となりました。

ITセグメントにおいて、営業投資有価証券の公正価値が堅調に増加しました。FTセグメントにおいては、インバウンド、旅行関連の決済が減少しましたが、巣ごもり消費によるEC・デジタルコンテンツの取扱

いが大幅に拡大しました。

また、第2四半期会計期間(7月-9月)の税引前利益は5,632百万円となり、第1四半期の405百万円から14倍と大幅に回復しました。FT/MTセグメントにおいては、中期5ヵ年計画を見据えた体制構築のため先行投資を行うなど、中長期の成長へ向けた準備を着実に進めております。

(単位:百万円 / JPY in Millions)	2020.3期 FY20.3				2021.3期 FY21.3		20.3期 FY20.3	21.3期 FY21.3	前年同期比 YoY	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	2Q(累計)	2Q(累計)	%	増減額
収益 Revenue	8,217	11,379	9,078	8,262	6,944	12,320	19,596	19,264	-1.7%	-332
リカーリング型事業から生じる収益 Revenue in recurring business	6,138	6,718	6,576	7,256	6,148	6,301	12,856	12,449	-3.2%	-406
営業投資有価証券に関する収益 Revenue in operational investment securities	459	3,332	968	-739	302	4,968	3,790	5,270	+39.0%	+1,480
その他の収益 Other income	817	422	301	877	193	207	1,239	400	-67.7%	-839
金融収益 Finance income	1	16	28	48	1	0	17	1	-91.6%	-16
持分法による投資利益 Share of profit of investments accounted for using equity method	803	891	1,205	821	300	843	1,694	1,143	-32.5%	-551
費用 Expenses	5,999	6,271	6,016	8,643	6,539	6,689	12,270	13,228	+7.8%	+958
売上原価 Cost of sales	2,740	2,976	2,853	3,467	2,764	2,829	5,716	5,593	-2.1%	-123
販売費及び一般管理費 Selling, general and administrative expenses	2,951	3,138	3,121	4,813	3,453	3,588	6,089	7,041	+15.6%	+952
その他の費用 Other expenses	78	86	74	254	69	109	164	178	+8.5%	+14
金融費用 Finance costs	230	71	-32	109	252	163	301	415	+37.8%	+114
税引前利益 Profit before tax	2,218	5,108	3,062	-381	405	5,632	7,326	6,037	-17.6%	-1,290
親会社の所有者に帰属する当期利益 Profit attributable to owners of parent	1,624	3,647	2,253	-105	224	3,779	5,271	4,003	-24.1%	-1,268

*上記収益、費用、税引前利益は、非継続事業を除いた継続事業を表示

収益は前年同期比11%増の47.5億円、税引前利益は同3%減の21.0億円

Revenue marked 4.75 B JPY, +11% YoY, and profit before tax decreased to 2.10 B JPY, ▲3% YoY

決済取扱高は前年同期比20%増の1.4兆円、決済取扱件数は同35%増の3億件と高成長を継続

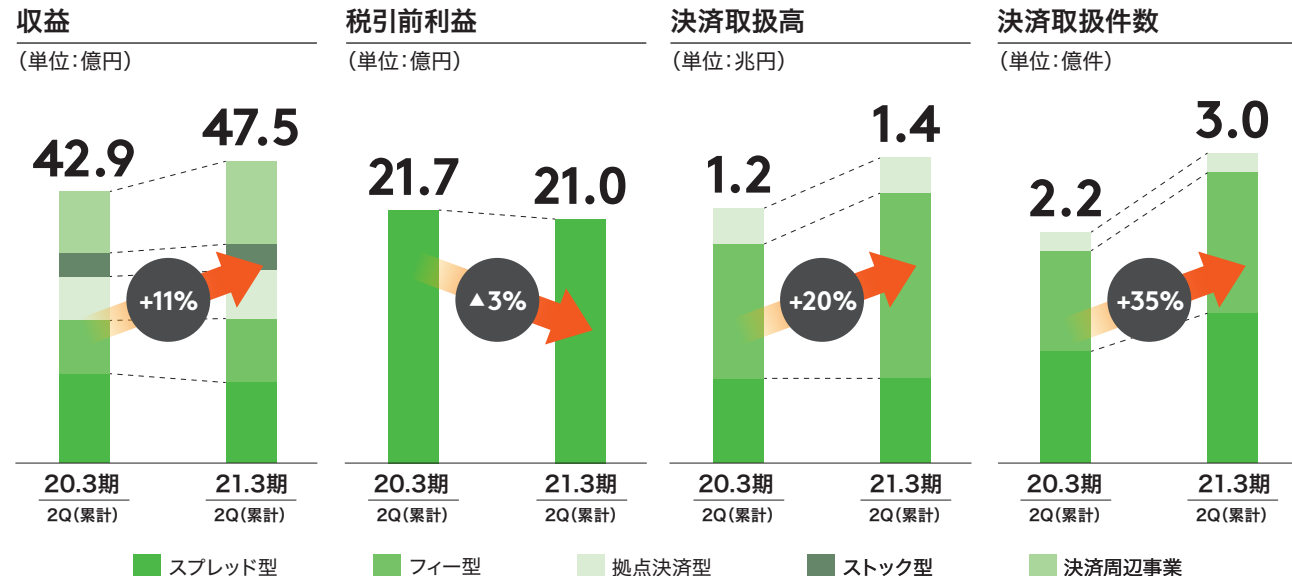
Transaction volume marked 1.4 T JPY, +20% YoY, and the number of transactions marked 300 M, +35% YoY, continuing high growth

FTセグメントでは、Eコマース(EC)をはじめとするBtoCの商取引に必要不可欠なクレジットカード決済やコンビニ決済等の電子決済ソリューションの提供を行っております。

当第2四半期累計期間においては、収益は4,749百万円(前年同期比10.8%増)、税引前利益は2,101百万円(前年同期比3.3%減)となりました。COVID-19の影響で、インバウンド消費に対応した対面決済や旅行関連の取扱いが減少したものの、ECを中心に既存加盟店の取扱いが増加し、決済取扱高は前年同期比20%増の約1.4兆円、決

済取扱件数は同35%増の約3億件まで伸ばしました。一方、決済手段の多様化及び決済システム機能の拡充に伴い設備費用等が増加しました。

対面決済においては、東芝テック(株)との合併であるTDペイメント(株)を窓口とした決済事業が順調に進捗しているほか、クラウドペイでは決済手段を着実に増やし利便性を向上しております。今後も事業パートナーとの決済連携を推進し、FinTech業界のプラットフォームとして、新たな成長領域を開拓してまいります。



収益は前年同期比10%減の65.9億円、税引前利益は同75%減の2.6億円

Revenue marked 6.59 B JPY, ▲10% YoY, and profit before tax decreased to 0.26 B JPY, ▲75% YoY

デジタルアド、次世代ユーザーDB事業が堅調、中期成長へ向けたコスト最適化を実施し費用が先行

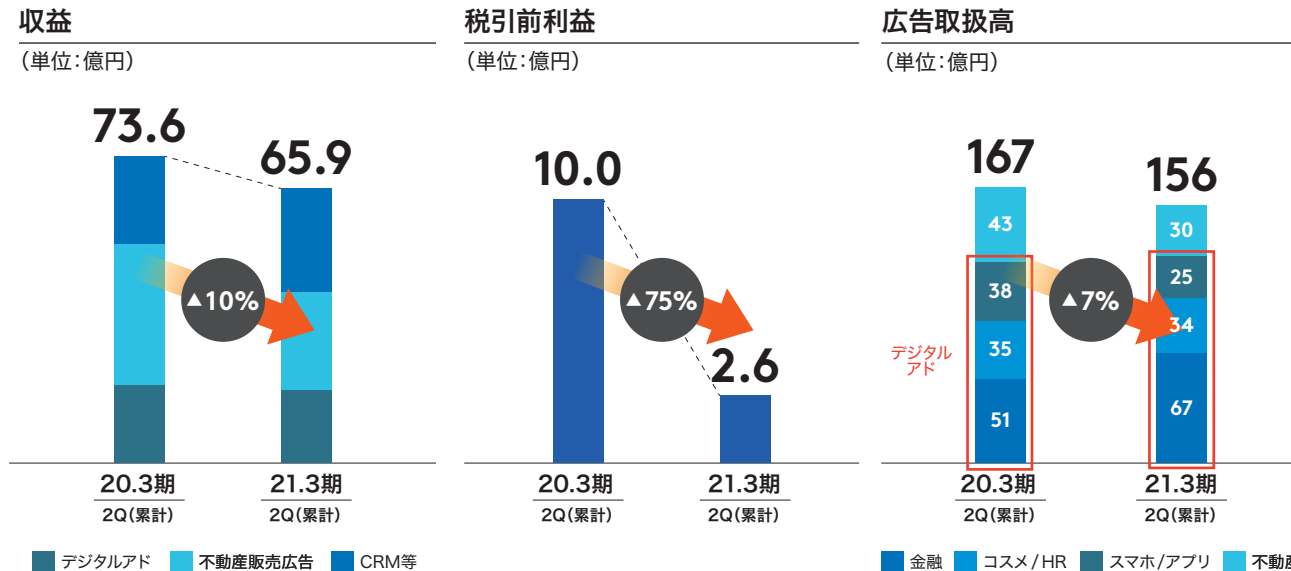
Digital ads and next-generation user DB businesses remained firm, expenses recorded due to optimization of costs in anticipation of medium-term growth

MTセグメントでは、インターネットとリアルを融合した総合的なデジタルマーケティングや様々なデータを活用したデータマーケティングビジネスを行っております。

当第2四半期累計期間においては、収益は6,591百万円(前年同期比10.4%減)、税引前利益は256百万円(前年同期比74.5%減)となりました。主力のデジタルアド事業の取扱いが堅調に推移しましたが、COVID-19の影響で、不動産業・小売業等のプロモーションが延期・中止したこと等により取扱いが減少しました。また、中期5カ

年計画に向けたコスト適正化施策を実施したことにより先行費用が発生しました。

一方で、新規事業への投資は継続しております。日本で最初の有力メディア28社によるメディア横断型の「コンテンツメディアコンソーシアム」、不動産リーガルテックのゲートウェイ事業「Musubell(ムスベル)」、次世代型のDOOH事業である美容サロン特化のデジタルサイネージメディア「サキザキテルコ」を開始するなど、次の成長分野として注力してまいります。



インキュベーションテクノロジー・セグメント

INCUBATION TECHNOLOGY SEGMENT

営業投資有価証券残高は前期末比11%増の406億円に拡大

Operating investment securities increased 11% YoY to 40.6 B JPY

グッドパッチ社のIPOに加え、欧米・アジアの投資先公正価値が大幅に増加

In addition to Goodpatch Inc.'s IPO, the fair value of the U.S., Europe and Asia investees has increased significantly

ITセグメントでは、国内外のスタートアップ企業等への投資及び当社グループ内の事業との連携による投資先の育成等を行っております。また、投資先持分である公正価値の継続的な向上を目指し、更なる支援体制の強化に取り組んでおります。

当第2四半期累計期間は、欧米・アジアを中心とした既存投資先の公正価値が大きく増加したほか、6月末に上場した(株)グッドパッチの株価が堅調に推移したこと等により、営業投資有価証券の残高は、

40,585百万円(前連結会計年度末比4,038百万円増)となりました。世界的な株式市場の回復及びIPO市場が平常化し、スタートアップ企業を取り巻くファイナンス環境も回復軌道に乗っております。特に米国のDX/Fintech企業の企業価値が大きく上昇し、アジアでのEC関連企業も成長が続いています。当社グループは今後も、創業より25年間かけて築いたネットワークを活用し、グローバルポートフォリオ構築を基本とした投資エコシステムを確立してまいります。

セグメント収益 Revenue

57億円 前年同期比 +42.6%

セグメント税引前利益 Profit before tax

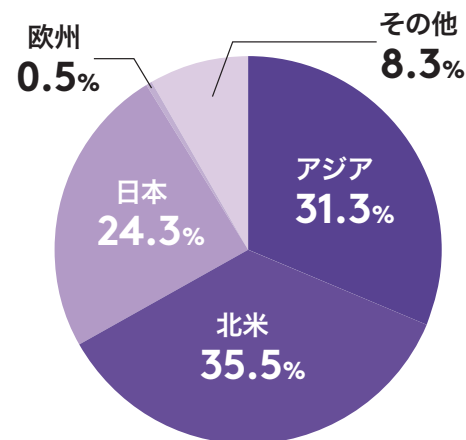
50億円 前年同期比 +51.9%

営業投資有価証券残高 Operational investment securities

406億円 前期末比 +11.1%

エリア別ポートフォリオ(期末簿価ベース)

営業投資有価証券残高:406億円



【投資先の一例】

日本	アジア	北米
Goodpatch UI/UXデザインに特化したデザインカンパニー。自社プロダクト事業としてプロトタイプングツール「Prott」、デザイナー特化型キャリア支援サービス「ReDesigner」を提供	Sendo Sen Do Technology [ベトナム] ベトナムのC2C・B2C向けマーケットプレイス「Sendo」の運営、及び電子ウォレットサービスを提供	MX MX Technologies [米国] 米国の銀行を中心とした金融機関に対し、顧客口座向けの個人資産管理(パーソナル・フィナンシャル・マネジメント)ツールを提供
stmn. inc. クラウド福利厚生プラットフォーム「TUNAG(ツナグ)」を提供。社員満足度の高い福利厚生と社員同士のコミュニケーションのきっかけづくりに特化した福利厚生メニューを用意	tokopedia Tokopedia [インドネシア] インドネシア最大規模のオンラインマーケットプレイス。個々の企業家や中小企業がオンラインストアを開設できるプラットフォームを提供	Playco Global Playco Global [米国] メッセンジャーアプリやブラウザといった異なる環境でも利用可能かつ瞬時にロードすることができるHTML5のゲームプラットフォームを開発・提供
QD LASER 量子ドットレーザー技術の事業化を目指す先駆者として、通信・産業・医療・民生分野で新しい半導体レーザーソリューションを開発・提供	NOBROKER NoBroker Technologies Solutions [インド] 物件検索から契約まで一連の手続きを全てオンラインで可能とするCtoC不動産マーケットプレイスを運営	THREDUP ThredUp [米国] 婦人服・子供服に特化した中古衣料品をオンライン上で代行販売する米国最大のアパレルリサイクルプラットフォームを運営

ロングタームインキュベーション・セグメント

LONG-TERM INCUBATION SEGMENT

税引前利益は前年同期比75%減の6.1億円。カカコムの特分法投資利益の減少及び新規事業の事業化コストの計上により減益

Profit before tax marked 0.61 B JPY, ▲75% YoY.
 Profit decreased due to decrease of investment profit on equity method of Kakaku.com, Inc., and recording of commercialization cost for new business

1Qで影響を受けた「食べログ」は2Q以降回復基調、Go To Eat キャンペーンで更に回復基調へ

"Tabelog", which was affected by COVID-19 in 1Q, has been recovering since 2Q, and Go To Eat campaign will lead to further recovery

LTIセグメントでは、当社グループがこれまで培ってきた投資育成や事業開発のノウハウを活かし、中長期的かつ継続的な事業利益の創出に取り組んでおります。

当第2四半期累計期間においては、収益は2,105百万円(前年同期比46.4%減)、税引前利益は605百万円(前年同期比75.1%減)となりました。持分法適用会社である(株)カカコムが、COVID-19の拡大により食べログ事業中心に影響を受けました。

しかしながら、第2四半期会計期間以降は回復基調にあり、Go To Eat キャンペーンによる更なる回復が見込まれます。

また、中期的な成長事業として、2015年から運転事業者を中心に脳MRI事業を推進しており、脳MRI受診件数は累計3万件を突破しました。今後は脳のビッグデータとAI活用によるサービス開発に注力し、バイオヘルス領域の主力事業へと成長させるべく取り組んでまいります。

セグメント収益 Revenue

21.1億円 前年同期比 ▲46.4%

セグメント税引前利益 Profit before tax

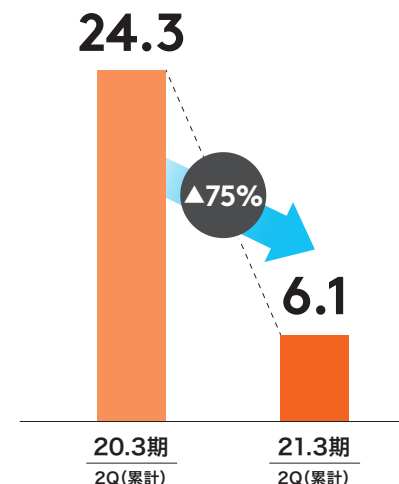
6.1億円 前年同期比 ▲75.1%

カカコム月間利用者数 Monthly traffic for all sites of Kakaku.com

2億 4,741万人

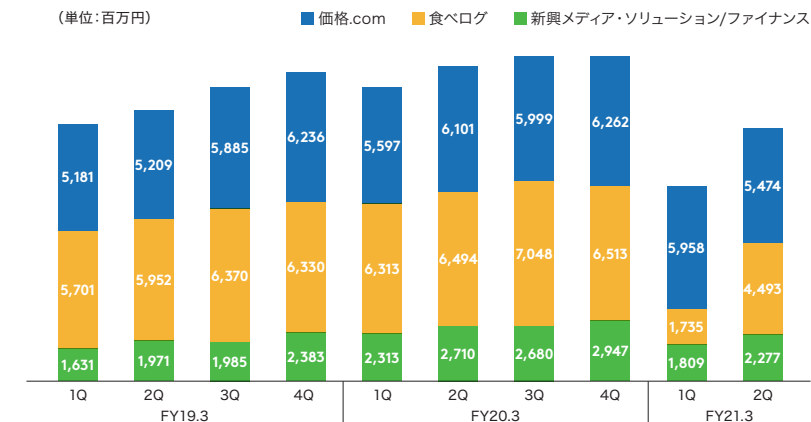
税引前利益

(単位:億円)



カカコムの主な事業進捗

【カカコムグループ連結売上収益の四半期推移】
 2021年3月期2Q累計の連結売上収益は、前年同期比▲26.4%



* (株)カカコム 2021年3月期 第2四半期決算説明資料より抜粋



Musubell
不動産電子契約システム

不動産業界に向けたDX促進をグループ総合力で推進

不動産広告事業とレジテック投資に加え、不動産リーガルテック領域に参入
Promoting DX for the real estate industry through the Group's comprehensive strengths
~ Entry into the real estate legal tech area in addition to real estate advertising and Regi-Tech investment ~



Musubell
不動産電子契約システム

7月に第一弾としてローンチ

- 不動産売買契約における書類・印紙・捺印・郵送・書類管理・業務を自動化(電子化)
- コロナ影響とDX化の流れを受け業界ニーズ急増
- データ分析によるマーケティング及び金融領域への応用
- 第一弾として野村不動産(株)にて導入
- 電子契約ソリューションは第一弾として弁護士ドットコム(株)API接続

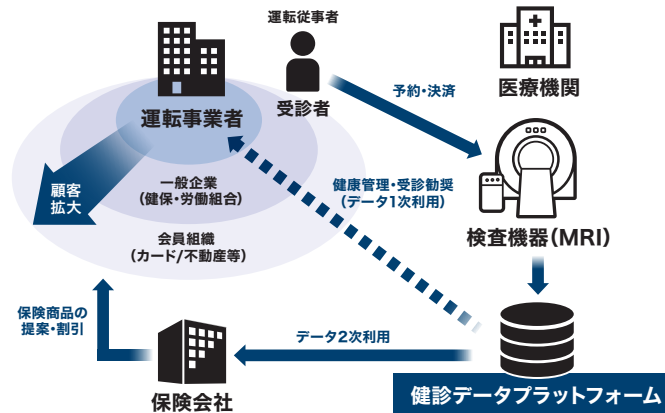


BRAINSCAN
TECHNOLOGIES

バイオヘルス事業/ブレインスキャンテクノロジーで脳MRI健診数が累計3万件を突破

~ 運転事業者向け脳MRI事業を基盤に、脳のビッグデータとAIの活用によるサービス開発 ~
BioHealth/ The number of the brain MRI medical consultations exceeds total 30,000 cases in Brainscan Technologies, Inc.
~ Service development by the inflection of the big data and AI of the brain based on the business of the brain MRI to drivers ~

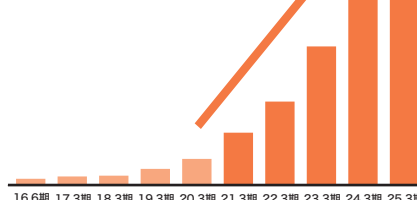
ブレインスキャンテクノロジービジネスモデル



脳MRI健診受診件数

2017年の法改正※により、各協会団体や健保が脳MRI健診への助成金支給を開始し、受診件数が大幅に伸長
※ 道路運送法及び貨物自動車運送事業法の一部を改正する法律

■年間受診件数計画
2020年10月に
累計30,000件を突破

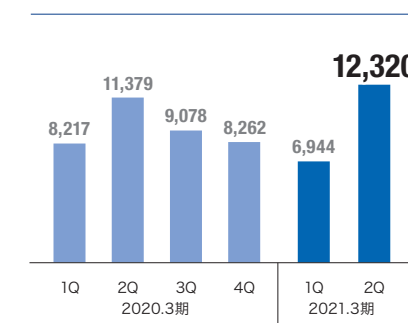


業績の推移 Financial Results

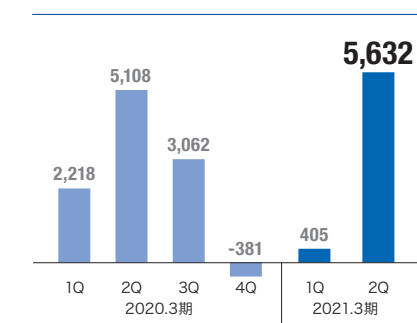
連結業績 Consolidated Performance

(単位:百万円 / JPY in Millions)

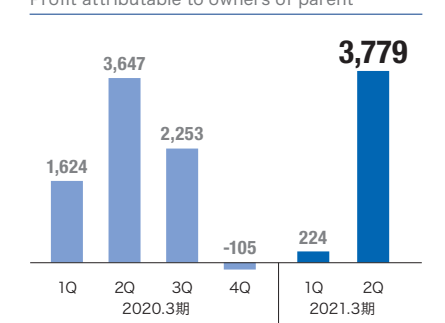
収益 Revenue



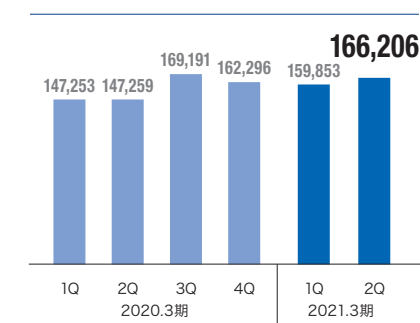
税引前利益 Profit before tax



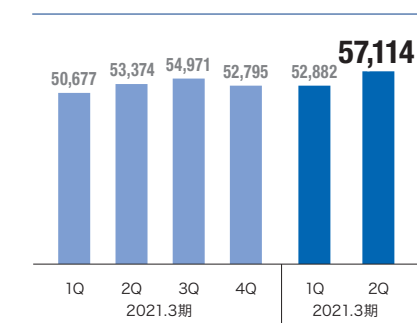
親会社の所有者に帰属する当期利益 Profit attributable to owners of parent



資産合計 Total assets



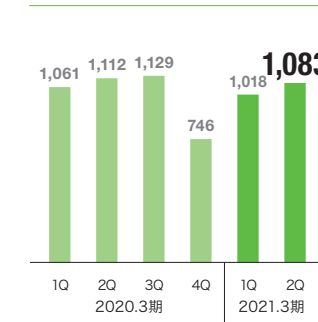
資本合計 Total equity



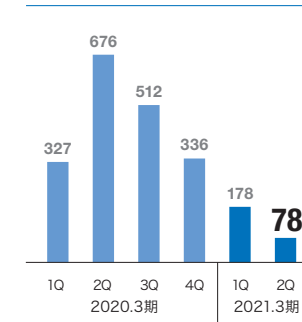
セグメント別税引前利益 Profit before tax by segments

(単位:百万円 / JPY in Millions)

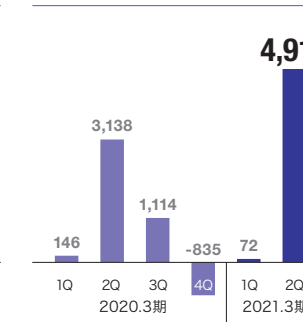
FT



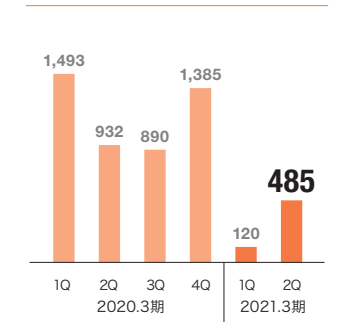
MT



IT



LTI



❖ 連結財政状態計算書(要約) Consolidated statement of financial position

(単位:百万円 / JPY in Millions)		2020.3期末	2021.3期2Q末	前期末比	主な変動要因/備考
流動資産	Current assets	98,852	100,806	+1,954	
現金及び現金同等物	Cash and cash equivalents	32,702	39,259	+6,556	FT事業関連科目
営業債権及びその他の債権	Trade and other receivables	26,657	19,157	-7,500	FT事業関連科目、売掛金の減少
営業投資有価証券	Operational investment securities	36,546	40,585	+4,038	IT既存投資先の公正価値増加
非流動資産	Non-current assets	63,444	65,401	+1,957	
有形固定資産	Property, plant and equipment	21,367	20,388	-980	減価償却による減少
持分法で会計処理されている投資	Investments accounted for using equity method	21,475	21,736	+262	持分法投資利益の取込
その他の金融資産	Other financial assets	6,319	8,858	+2,539	上場株式の時価評価による増加
資産合計	Total assets	162,296	166,206	+3,911	
流動負債	Current liabilities	50,838	47,287	-3,551	
借入金	Borrowings	4,927	6,678	+1,751	運転資金の借入
営業債務及びその他の債務	Trade and other payables	41,203	34,754	-6,449	FT事業関連科目、買掛金の減少
非流動負債	Non-current liabilities	58,663	61,805	+3,142	
社債及び借入金	Bonds and borrowings	38,247	39,570	+1,323	設備資金の借入
その他の金融負債	Other financial liabilities	13,553	12,966	-588	
繰延税金負債	Deferred tax liabilities	5,426	7,347	+1,922	
負債合計	Total liabilities	109,501	109,092	-408	
資本合計	Total equity	52,795	57,114	+4,319	
親会社の所有者に帰属する持分	Total equity attributable to owners of parent	52,033	56,075	+4,042	
資本金	Share capital	7,591	7,619	+28	
資本剰余金	Capital surplus	4,409	4,569	+161	
自己株式	Treasury shares	-5,012	-4,915	+97	
その他の資本の構成要素	Other components of equity	324	1,826	+1,502	上場株式の時価評価による増加
利益剰余金	Retained earnings	44,721	46,975	+2,254	当期利益の計上による増加
非支配持分	Non-controlling interests	762	1,039	+277	
負債及び資本合計	Total liabilities and equity	162,296	166,206	+3,911	

❖ 会社情報

(2020年9月30日現在)

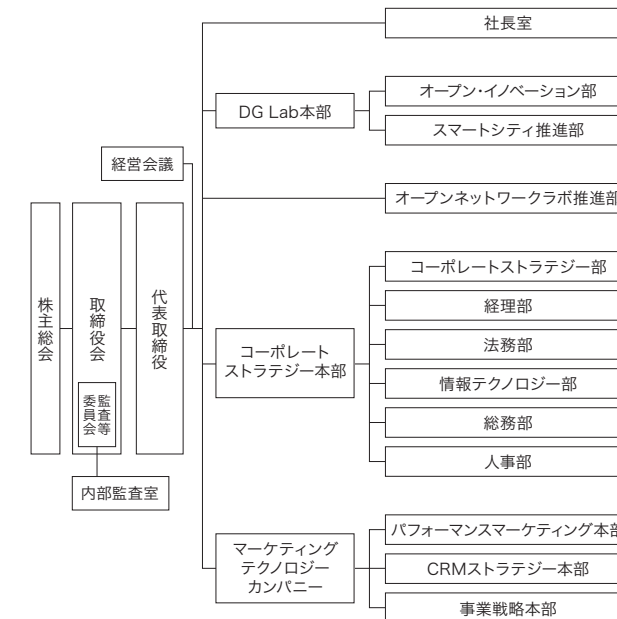
会社概要

商号 株式会社デジタルガレージ
設立 1995年8月17日

役員

代表取締役	林 郁	社外取締役	藤原 謙次
取締役	曾田 誠	社外取締役	大村 恵実
取締役	踊 契三	取締役(監査等委員長)	六彌太 恭行
取締役	田中 将志	社外取締役(監査等委員)	坂井 眞
取締役	大熊 将人	社外取締役(監査等委員)	井上 準二
取締役	篠 寛	社外取締役(監査等委員)	牧野 宏司
取締役	伊藤 稷一	社外取締役(監査等委員)	大野 実

組織図



株式情報

発行可能株式総数: 120,000,000株 議決権総数: 460,583個
発行済株式総数: 47,428,500株 株主総数: 5,755名

大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
林 郁	6,828,800	14.82%
日本マスタートラスト信託銀行(株)(信託口)	3,437,200	7.46%
(株)電通グループ	3,300,000	7.16%
TIS(株)	2,364,500	5.13%
(株)日本カストディ銀行(信託口9)	1,719,000	3.73%
ジェービー モルガン バンク ルクセンブルグ エスエイ 385576	1,564,900	3.40%
(株)日本カストディ銀行(信託口)	1,277,500	2.77%
ザバンク オブ ニューヨーク メロン 140051	1,190,600	2.58%
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー 505103	869,446	1.89%
(株)日本カストディ銀行(信託口5)	737,400	1.60%

*持株比率は自己株式(1,363,549株)を控除して計算しております。

株式分布状況

株式数

